

宝塚歌劇に関する話題をピックアップ!  
**SUMIRE TOPICS**

宙組公演  
**Shakespeare**  
 ~空に満つるは、尽きせぬ言の葉~  
**「HOT EYES!!」**  
 制作発表会

2015年11月、宝塚パヴォールで行われた宙組公演制作発表会に、トップスター・朝夏まなとさん、トップ娘役・実咲凜音さん、そして真風涼帆さんが登場。『Shakespeare』より、本番さながらの華麗なパフォーマンスを披露した三人のコメントをご紹介します。

★ 朝夏まなと

『ロミオとジュリエット』が好きなので、その作者であるシェイクスピアを演じることになり、驚いています。言葉を生み出すことへの情熱、作家としての彼はもちろん、一人の男性としての一面も大切に演じたいですね。



ショーでは全ての場面で大階段が登場するので、私自身も本当に楽しみです。今の宙組の勢いをぜひご覧ください!

★ 実咲凜音

シェイクスピアの妻、アン・ハサウェイを演じます。パフォーマンスは緊張しましたが、シェイクスピアにインスピレーションを与えるチャーミングな女性として、役作りを深めていきたいですね。2015年は色々な女性の役を演じさせていただき、学ぶことの多い一年でした。向上心を忘れず、さらに良い舞台を作れるよう精進します。



★ 真風涼帆

私が演じるハンズドン卿ジョージ・ケアリーはシェイクスピアの後援者ですが、彼は悪人ではなく、演劇にできる“欲”が強い人物だと感じたので、パフォーマンスでもそこを意識して演じました。2016年も朝夏さんから多くのことを学ばせていただくと共に、宙組がより魅力的な組になるよう、力を尽くしたいと思います。



詰め掛けした報道陣から寄せられる数々の質問に、ユーモアも交えながら答える三人。終始やかな中にも、新春公演に向けた意欲がみえる清々しい会見となりました。2016年の幕開きを熱く盛り上げる新作二本立て、どうぞお見逃しなく!



(中央)朝夏まなと、(右)実咲凜音、(左)真風涼帆



2016  
**Takarasienna**  
 Interview

宙組  
 鷹翔千空さん

2016年最初のTOKKの表紙を飾ってくれたのは、阪急阪神の初詣ポスターモデルを務めた鷹翔千空さん。2015年に初舞台を踏み、宙組生として歩み始めたばかりのフレッシュな彼女に、タカラヅカを目指したきっかけや今後の抱負などを伺いました。

“凛とした男役”を目指して…

1 タカラヅカを目指したきっかけは？  
 初舞台の感想もお聞かせください。

小さい頃からバレエを習っていて、将来は舞台上に立つ仕事を…と考えていました。中学生の時、初めて宝塚大劇場で『THE SCARLET PIMPERNEL』(2008年星組公演)を見て、舞台のエネルギーが2階席にまで届くを感じ「ここに入りたい」と思うようになったんです。初舞台公演では、初日の口上をさせていただいた時に「今、舞台上に立っているんだ」という実感が湧き、本当に感動しました。またラインダンスでは、同期皆で支え合って稽古してきたものを、お客様にお見せできることへの喜びが大きくて…。お客様が手拍子をして下さった時は、上級生の方々からお聞きしていた“舞台と客席が一体になる”感覚を初めて味わうことができ、とてもうれしかったです。

2 その後に出演された公演では、  
 どんなことを学びましたか？

8月の専科パヴォール公演『オイディプス王』では、轟 悠さんが入団間もない私たちにも「とにかく体を大切にしないさい」と優しく声をかけてくださって…。日々進化される姿を間近で拝見し、舞台上に立つ上での心構えを学ばせていただけたように思います。10~11月の宙組全国ツアー公演では、トップスターの朝夏まなとさんに「稽古場では真っ白な心で、先生方の言葉を柔軟に取り入れられる自分であれば、いつも前向きに取り組めるよ」と教えていただき、すごく勉強になりました。



3 今後はどんな男役を目指したいですか？

ファン時代、安蘭けいさんや柚希礼音さんなど、包容力のある凛とした男役さんに憧れていました。今は朝夏さんと上級生の方々の背中を見て、一日も早く“宙組男役”として舞台上に溶け込めるよう精進したいです。また、歌が好きなので、いつかお客様の心に残る歌を歌えれば…。2015年に学んだことを糧に、これからも芸に邁進してまいりますので、応援よろしくお願いたします!

PROFILE 鷹翔千空さん

滋賀県出身。2015年4月、月組公演『1789—バスティーユの恋人たち—』で初舞台。6月、宙組に配属。今年1月1日からは宙組大劇場公演『Shakespeare』『HOT EYES!!』に出演する。愛称は“こっぴい”。